

令和 8 年 3 月 吉日

第 10 回 CDE-MIYAGI(宮城県糖尿病療養指導士)認定講習会のご案内

宮城県糖尿病対策推進会議

宮城県糖尿病療養指導士認定委員会

委員長 赤井裕輝

(東北医科薬科大学若林病院 病院長)



拝啓 早春の候 皆様におかれましては益々のご健勝の事と、お慶び申し上げます。
日頃から糖尿病療養指導に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

宮城県糖尿病療養指導士認定委員会は、宮城県糖尿病対策推進会議の傘下で県内の糖尿病専門医師や看護師等のコメディカルスタッフによって構成されている任意団体です。本認定制度は、県内の糖尿病患者の健康・福祉の向上及び糖尿病発症予防のため、糖尿病療養指導についての正しい知識と技術を持ち、糖尿病診療および糖尿病予防のための啓発活動に貢献できる医療スタッフの養成および認定を目的としています。

平成 29 年に認定制度が発足しこれまで 945 名の皆さんが取得され、現在は 678 名の方が活躍されています。第 1 回～第 4 回の認定者はすでに 5 年後の更新をしています。糖尿病腎症重症化プログラムの推進や生活習慣病管理料の新設もあり、糖尿病への興味関心も高まっていることと思います。

是非募集案内をご参照頂き、多くの皆様に応募を頂けましたら幸いです。

敬具

記

第 10 回 CDE-MIYAGI (宮城県糖尿病療養指導士) 認定講習会

日 程 : 2026 年 7 月 1 日 (火) ～ 8 月 31 日 (日) Web オンデマンド配信

受講資格 : ① 宮城県内に勤務し、糖尿病療養指導に関心があること。
② 看護師・准看護師・保健師・助産師・管理栄養士・栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・臨床心理士・歯科衛生士・視能訓練士のいずれかの資格を持つ者、もしくは宮城県糖尿病療養指導士認定委員会が認める医療・介護等に関する認定資格を有していること。
③ 上記②の資格取得後、3年以上の業務経験を有していること。
④ 日本糖尿病協会の会員であること。

募集期間 : 2026 年 4 月 1 日 (水) ～ 6 月 10 日 (水)

申込方法 : ホームページ「新規認定を希望される方へ」から、案内に沿って申込みください。

受講料 : 15,000 円 (認定講習会受講料 10,000 円+認定審査料 5,000 円)

2026年 第10回 CDE-MIYAGI 認定講習会 申請方法

1.申請方法	<p>①会員登録 ホームページ内「新規認定を希望される方へ」から、会員登録申請を行ってください。 受付期間：<u>2026年4月1日（水）～6月10日（水）</u></p> <p>②認定講習会申請書郵送 「2026年第10回 CDE-MIYAGI 認定講習会申請書」Excel ファイルをダウンロード、必要事項を入力および記載し、下記送付先まで郵送してください。 表に「認定講習会申請書」と朱書きしてください。 受付期間：<u>2026年4月1日（水）～6月10日（水）必着</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p><送り先> 〒982-8799 新仙台郵便局 CDE-MIYAGI 事務局宛</p></div> <p>※①会員登録 ②認定講習会申請書郵送は順不同です。どちらが先でも構いません。 ただし受付期間内に2点が揃わない場合承認されませんのでご注意ください。 ※ポスター・チラシ等で受付期間を～5月31日と案内しているものもありますが、 6月10日までと変更しております。</p>
2.申請書記載方法	<p>①会員登録について</p> <ul style="list-style-type: none">●ホームページ「新規認定を希望される方へ」内に手順の詳細を記載しています。ご参照ください。 <p>②申請書について</p> <ul style="list-style-type: none">●糖尿病患者への療養指導活動内容や資格取得後の抱負を簡潔に記載してください。●職歴は受講資格を満たしているかの確認上必要です。3年以上の業務経験が分かるよう、年月日、所属施設名を記載してください。複数の施設にまたがっている場合は直近の3年間で分かれば全部記載する必要はありません。●在籍証明のため、施設長（病院長）又は部署長の署名、捺印を記入してください。
3.受講料・審査料支払い	<ul style="list-style-type: none">●認定講習会受講料・認定審査料 併せて15,000円となります。 会員登録及び申請書を確認し、後日「承認完了」のメールをお送りします。 会員マイページより「認定講習会」を申込み、お支払いください。 支払いはクレジットカード・コンビニ支払い・Pay-easyからお選びいただけます。いずれも手数料は申込者様負担となりますのでご了承ください。●認定の際は、日本糖尿病協会会員であることが条件となっています。 入会していない方は、認定審査までに、公益社団法人日本糖尿病協会のホームページから入会してください。 日本糖尿病協会 https://www.nittokyo.or.jp
4 受講(WEB 聴講)URL の発行	<ul style="list-style-type: none">●講習会受講用のURL・ログインID・ログインパスワードを登録いただいたメールアドレス宛に発行いたします。●講習会受講用のURL発行は6月末を予定しております。

【お問い合わせ】 ホームページお問い合わせフォームよりご連絡ください。

CDE-MIYAGI (宮城県糖尿病療養指導士) の資格を取得しませんか？



【CDE-MIYAGI資格取得のメリット】

- ① 質の高い糖尿病療養指導の知識・技術を身につけ、さらに維持・向上できます
- ② 宮城県糖尿病療養指導士認定委員会主催の研修会に優先的に参加できます
- ③ 研修会に参加したり、イベント活動などで仲間が増えると「顔の見える連携」がしやすくなります
- ④ 患者指導のパンフレットやインスリン自己注射の補助具等の療養指導ツールを入手しやすくなります
- ⑤ CDE-MIYAGI資格取得者であることを表す「認定バッジ」が交付されます



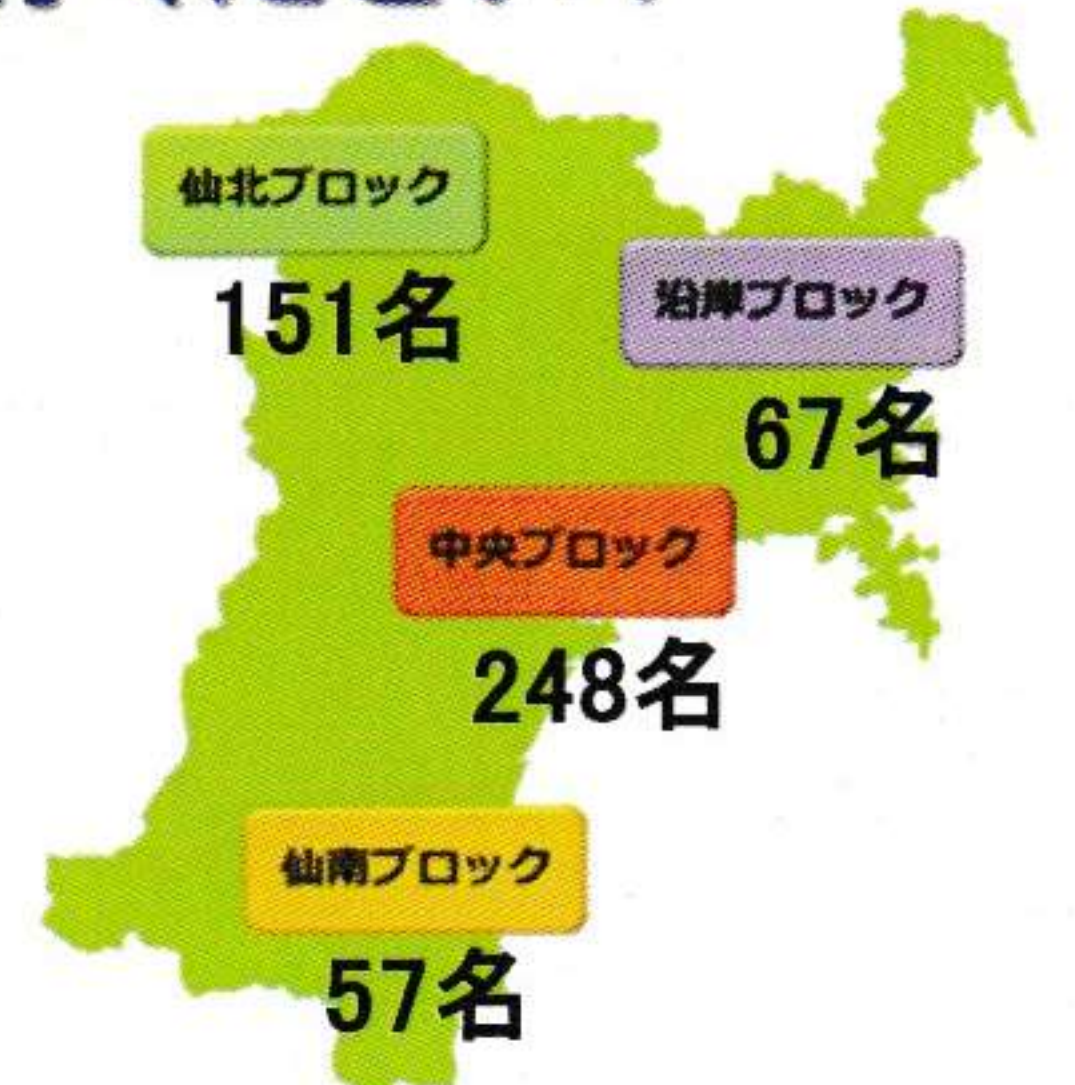
認定バッジ実物大



宮城県における糖尿病専門職の資格です

- 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) の資格を取りたいが、受験資格の要件が満たせない
- 糖尿病患者さんへの指導には興味があるが、日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) の資格を取るにはハードルが高い
- 資格を取得し、糖尿病に関する知識を深めたい
- 地域の糖尿病に関わる仲間と情報交換したい

このような事を考えていたり、悩んでいたたりしている方は是非、ご検討ください！



≪宮城県糖尿病療養指導士資格取得者 (2025年9月時点)≫

看護師:193名、准看護師:14名、保健師:16名、助産師:3名、管理栄養士:104名、
薬剤師:73名、臨床検査技師:14名、理学療法士:15名、作業療法士:3名、
歯科衛生士:83名、健康運動療法士:1名、公認心理師:1名、視能訓練士:1名

宮城県糖尿病療養指導士 (CDE-MIYAGI) の資格取得をご希望の方へ

・ **2026年度 (第10回) は 2026年7月1日 (水) ~8月31日 (月) の期間、WEB開催 (オンデマンド配信) にて実施予定です。**

【受講申込受付期間】 **2026年4月1日 (水) ~2026年6月10日 (水) 予定**
※当ホームページ「新規認定を希望される方へ」のページをご確認いただき、案内に沿ってお申込みください。

下記の方も募集します

- 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) をお持ちの方
- 糖尿病看護認定看護師をお持ちの方
- 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) の資格を失効して2年以内の方

CDE-MIYAGIについて
詳しくは公式HPへGo!

QRコードを読み取ってね



お問い合わせ

- 宮城県糖尿病療養指導士認定委員会事務局
<https://www.cde-miyagi.jp> ※ホームページからメールでのお問い合わせになります

2026年1月作成



CDE-MIYAGIの資格を持ち、 活躍している先輩 にインタビュー



佐藤 友美 さん（名取とおる内科・糖尿病クリニック 看護師）

Q1. CDE - MIYAGIの資格を取得したきっかけ

以前働いていた職場で、数値だけで良かった悪かったと帰る患者さんに何かサポート出来ないかと思ったことがきっかけでした。また、資格を取得することで自分にも自信をもって仕事がしたいという思いがあり受験しました。

Q2. CDE-MIYAGIとして活動してみたの感想

患者さん自身を知ることでのどの情報がどのくらい必要か、そしてどう伝えるかが大切だと実感しています。正しい情報を伝えるだけではないこと、患者さんが知識を得た後に自分の生活にどう活かせるかまで考えることが療養指導だと思っています。

また、学会やセミナーに参加することで、その環境にとっても刺激を受けました。同じ資格を持つ他職種と関わることで看護師以外の目線での情報が得られ勉強になりました。

Q3. 今後の抱負や目標、活動予定

知識を深めていくとスキルアップへの意欲がさらに強くなり、現在CDEJを目指し日々勉強しています。患者さんに寄り添った関わりが出来るよう経験と知識を積んでいきたいと思っています。

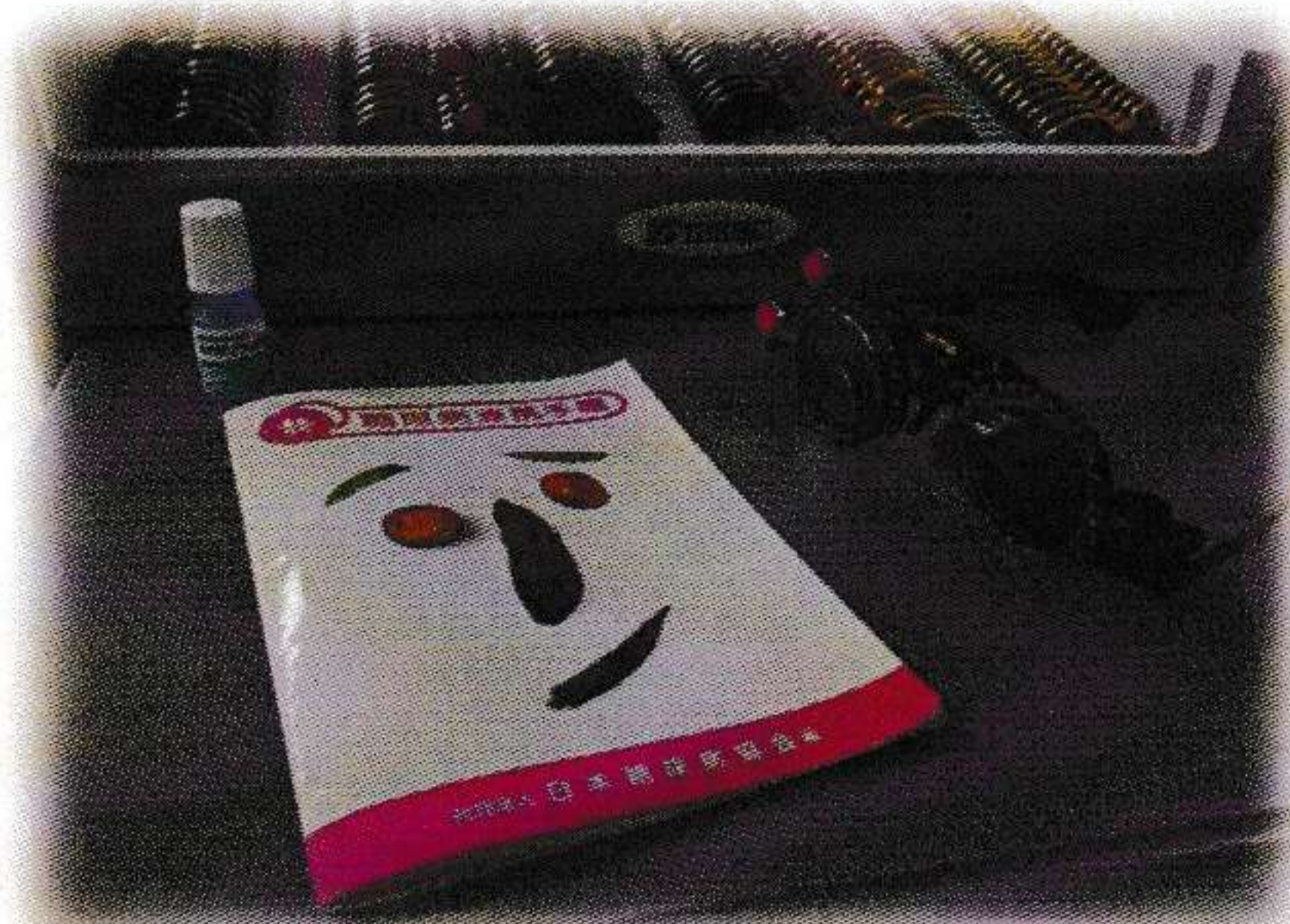


勤務する院内の指導室前で

高木 祥多 さん（阿部眼科診療所 視能訓練士）

Q1. CDE-MIYAGIの資格を取得したきっかけ

眼科にも糖尿病の方が多く来院します。内科医から眼科受診を勧められた患者さんの中には、「まだ見えるのになぜ？」と懐疑的な方もいます。そういった方の中には、だんだんと受診頻度が減り、数年ぶりの受診で重度の網膜症になっていたケースもありました。糖尿病について、それなりに知識は持っているつもりでした。ですが、ふと「自分の説明では伝わっていないのではないか。そもそも自分の知識は古いのではないか。」と不安になり、もう一度勉強し直したいと考えていました。そのような時期に院長からCDE-MIYAGIの存在を教えてもらい、資格取得に至りました。



眼科検査必需品 糖尿病連携手帳と検眼レンズセット

Q2. CDE-MIYAGIとして1年間活動してみたの感想

働き始めたころは糖尿病連携手帳の数値の確認のみをしていましたが、今は食事療法・運動療法の実施状況や投薬の状況の確認等、以前よりも積極的に患者さんの病状に向き合うことができるようになったと思います。また、CDE-MIYAGIの資格取得に向けて勉強し直したことで知識のブラッシュアップができました。糖尿病について改めて考えるきっかけになりました。

Q3. 今後の抱負や目標、活動予定について

糖尿病治療は日々進化しており、置いてきぼりにならないよう、CDE-MIYAGIの研修やWEBセミナー等に参加し自身の知識のアップグレードを図りたいです。また、糖尿病は全身に合併症を伴う疾患ですので、他科とも連携を取りつつ眼科的な観点から支援したいと考えています。

